

## 第9回（6月）「昆明市のアルバイトと日系進出企業」

石井夏月

こんにちは！第9回目の研修員だよりでは、雲南省昆明市のアルバイト事情と日系進出企業について紹介していきたいと思います！

まずはアルバイト事情についてです！私が特に驚いたことは、ほとんどの学生はアルバイトをしないということと、アルバイトの賃金です。現地の学生とお互いの大学生活について話すときに一番違いが出るのが、アルバイトをしているか、したことがあるかどうかということです。日本では多くの大学生がアルバイトをしながら生活していますが、中国では長期間のアルバイトをしている学生がとても少なく珍しいです。ですが、長期休みに短期間のアルバイトをしている学生は比較的多いようです。また、賃金なのですが雲南省でのアルバイトの平均時給は約10～15元（日本円だと約200円～300円）ほどです。現在の長野県の最低時給は998円のため、日本のアルバイトの時給を基準に考えると中国の時給はとても低く感じるのではないのでしょうか。ですが、各国の物価を基準に考えると実は日本とあまり変わらないのです。昼食にかかる値段を例に考えると、日本では比較的安いところだと1000円ほどで食べることができます。約1時間分の時給と変わらない値段です。中国では同じく比較的安いところだと10元ほどで食べることができます。これも約1時間分の時給と変わらない値段です。各国の物価から考えると、時給は高すぎず低すぎずと似ている感じになります。また、働き手の募集の条件も大きく違います。中国のアルバイトの募集要項を見ると、年齢や性別に関する条件が書かれていることがとても多いです。飲食店の働き手募集では、年齢が18～40、50歳までの年齢の方しか募集していないという



写真2 張り出されている募集案内(1)

ことをよく見かけます。なぜかという、定年退職の年齢が日本とは異なるからです。中国では2025年の1月1日から女性は55歳、男性は63歳が定年退職の年齢として制定されました。改定前は、女性は50歳、男性は60歳でした。日本は男女ともに65歳が一般的なため、ここでも少しの違いがあります。



写真1 張り出されている募集案内(2)

次に、日系進出企業についてです！昆明市ではよく、UNIQLO と無印良品を街中で見かけます。私も何度か行ったことがあるのですが、売られている商品自体はほとんど日本とは変わらない印象で中国限定の商品などはあまりないように感じました。商品ラベルも日本語のままで、中国語に翻訳されたものが書かれたシールが上からそのまま張られているものが多いです。ですが、値段は大きく違います。



写真 3 昆明市の UNIQLO

中国で買う方が圧倒的に高いということがほとんどです。日本では、国産のものが比較的高く海外産のものが安いというイメージがありますが、中国ではその反対です。国産のものが安く海外から輸入されたものがとても高くなります。物価で考えると日本よりとても安い中国ですが、例えば UNIQLO での服の値段や、iPhone、Haagen-Dazs 等、海外から進出した企業のもものは日本より高い値段になります。中国へ来たばかりのころはすべてのものが安く感じていたのですが、初めて UNIQLO や無印良品へ行ったとき

は日本で買うより高い者ばかりでとても驚きました。余談ですが、昆明市では日式〇〇という名前の商品をよく見かけます。これは日本式の味付けがされている料理ということです。ですが、ほかの地域にはある日本のファミレスや焼き肉、回転寿司などのチェーン店は昆明市にはありません。ほとんどが中国の方好みに味付けされたものです。



写真 4 MUJikafe のすき焼き

もし昆明市に来た際、どうしても日本料理が食べたくなった場合は、MUJikafe をお勧めします。無印良品内にあるカフェなのですが、日本で食べる料理と味付けが同じなのでぜひ行ってみてください！